

バンクーバー便り5

バンクーバー時間：2023年5月17日(水)午後12時10分

日本時間：2023年5月18日(木)午前10時10分

今回はカナダの医療についてお便りします。私自身はバンクーバーで生活を始めて半年もたらずカナダの医療を理解しているとはいえませんが、この間に体験したことを中心にお話したいと思います。

ご存知の方も多いかと思いますが、カナダも日本と同様、国民皆保険で医療費は無料です。日本のように1割~3割負担などありません。聞いた話では高額医療でも無料で入院費用も不要です。ここまでのお話しではカナダの医療は凄いなと思いますが、その分、当然ながら税金は高く、一般の人で収入の4割程度が税金だとのこと。それから理由は分かりませんが、歯科診療には保険がなく全て実費です。これも理由の一つかどうか分かりませんが、バンクーバーにはやたらと歯科医院が多い印象です。

娘の通う日本語補習授業校で知り合いました家族の方は、私たち家族より半年早くバンクーバーに移住されました。ご主人は香港人で学生時代をバンクーバーで過ごし、カナダ国籍もあります。奥様は日本人で、全くの偶然ですが、家内の通っていた大学の後輩だそうです。お子様は2人。ある日、子どもが発熱して病院を受診したいと思われましたが、ホームドクター(HD)を依頼するための予約待ち中で小児科医を受診できません。やむなく救急病院を受診したそうです。日本もこのHD制度を整えようとしています。経済的には国にメリットがあっても患者側のメリットがあるかどうか、疑問に感じます。

ドイツのように地域でHDが決まっていればいよいよおとなしにその医師がHDになりますので手続き上は時間がかかりません。カナダの場合は、地域的に決まっていませんので、患者の希望でHDを選べるのはよいでしょうが、地域的に便利なところになると限られた数のクリニックになり、人口の多い地域では集中してしまいます。このため、知人の話ではHDの予約をとるのに3~12ヵ月もかかるとのことでした。私たちは奇蹟的なタイミングで電話をしたらすぐに予約が取れました。

クリニックはひとけのないオフィスといった感じでした。受付の女性が一人いて看護師さんはいません。待合室はありますが、完全な予約制のため待っている人は一人のみでした。時間がきて受付の女性に呼ばれ、家族3人で診察室に向かいました。このクリニックは2人の医師が日替わりで担当しており、私たちのHDは恐らくインド系の中年男性でした。診察室は3,4室ありましたが、いずれも同じような構造のようでした。診察室は完全な個室ですが、6畳程度の広さで診察用の電動ベッドと小さな机、電子カルテの端末があるのみでした。診察室で待っているとHDとなる医師が入ってきました。自己紹介の後、定番の既往歴、家族歴、現在症などの質問がありました。予約のための受診であったため、特別な診察はなく問診だけで終わりました。部屋の様子から検査機器や採血室のような部屋はないようでした。知人の話では、採血や心電図検査の必要なときは他院や検査施設に紹介され、結局、HDは専門医に紹介状を書く仕事がほとんどで、風邪などのcommon diseasesの治療や慢性疾患の継続治療をするだけのようです。クリニックに併設して「門前薬局」があり、処方薬は有料とのことでした。

なお、walk-in clinic と private clinic があり、前者は予約なしに受診できる保険医ですが、HDにはなれません。後者は非保険医で自費ですのでやたらと高額とのこと。という具合で、多くの方はHDを決めるようにしているようです。この背景にカナダの医師不足があるとのこと、医師は収入の多い米国に移ってしまうことが原因の一つとのことでした。

カナダの医療のほんの一部を垣間見ただけの印象ですが、「医療費ゼロ」という魔法に目を奪われずにさらに医療の現状を見ていきたいと思います。